

事務事業名称	人権啓発事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち										
	実行計画名	11-1.人権意識の啓発と人権教育の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1986(S61)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市人権尊重まちづくり審議会				
事業対象	メインターゲット	人権を意識していない市民			
	サブターゲット	人権に関する知識や情報を必要とする人。			
	ターゲットが抱える課題	人権問題について、学び知る機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人権問題に関して学び、考えることで、市民の人権意識が向上出来ている状態。				
事業概要	<p>人権が尊重されるまちづくりをめざして、啓発事業を実施する。○連続講座「生きること」講師に自らの体験を語ってもらい、参加者が「生きること」とは何かを考えるきっかけを提供する。○人権文化セミナー 高齢者、女性、障害者など様々な人権問題に関する講演会や映画会などを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。○人権週間事業 毎年12月4日から10日の「人権週間」に併せて街頭啓発や講演会などを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。○北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 毎年12月10日から16日の「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に併せて拉致問題をはじめとする人権侵害問題に関するパネル展などを実施し、市民の関心と認識を深める。以上の事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会へ委託。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
ロジックモデル		各種イベントの参加を通じて、人権問題に関して学び、考えることで、市民の人権意識が向上出来ている。	市民が人権啓発に関する各種イベントに参加できる機会が増える。	人権啓発に関する各種イベントを開催する。										
指標設定	指標説明	<p>人権啓発事業(人権文化セミナー、人権週間事業)のアンケート結果における「とても良かった」及び「良かった」の割合。実績ベース(91%)から毎年1%を目途に上昇を目指し、R5年度は95%を目標とする。</p> <p>【算出式:「とても良かった」及び「良かった」と回答した人数/アンケート回答数×100】</p>	人権啓発に関する各種イベントへの延べ参加人数。	人権啓発に関する各種イベントの開催回数。										
		単位	%	単位	人	単位	回							
	指標種類	増加することが良いとされる指標												
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	92	93	94	95	960	980	980	1,000	4	4	4	4
達成度	94	93	94.60	97	291	639	547	571	3	5	6	6		
		102%				57%				150%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.08
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,714	9,765	8,527		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,714	9,765	8,527		
物件費計	9,857	9,872	9,842	9,872	99.7%	
歳出計	14,571	19,637	18,369			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	9,857	9,872	9,842	9,872		

5. 総括的分析

総括的分析	人権問題が多様化・複雑化する中、当事者からのお話や世界の情勢に目を向ける内容まで、幅広く人権について考えてもらう事業を実施することができた。アンケートから参加者の満足度は上昇の傾向にあるが、参加人数は横ばいとなっており、より多くの市民が参加し、人権問題を身近なこととして感じてもらえる事業を企画する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	インターネット上の誹謗中傷や性的マイノリティの人権など、人権問題が多様化複雑化する中で、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢が伝わる啓発事業を、枚方人権まちづくり協会と連携するなど引き続き進めていく。

事務事業名称	性的マイノリティ支援事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち									
	実行計画名	11-2.性的マイノリティへの支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020 (R2) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	LGBTなどの性的マイノリティ当事者			
	サブターゲット	SOGIに関心のない市民			
	ターゲットが抱える課題	SOGIに関わりなく、自分らしく生きることができない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もがLGBTなどの性的マイノリティに関して理解し、SOGIに関わりなく、自分らしく生きることができる状態				
事業概要	性の多様性の理解促進に向けて、平成31(2019)年3月に、性的マイノリティ支援宣言「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、4月よりLGBTなどの性的マイノリティ当事者のカップルが互いをパートナーであると宣誓したことを市が公的に証明する「パートナーシップ宣誓制度」、LGBT専門電話相談、7月よりコミュニティスペースを開始。また、誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりを進めるため、市民向けの啓発講座、職員向け研修を継続して実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		LGBTなど性的マイノリティに関する市民の理解が深まる。				LGBTなど性的マイノリティに関する啓発イベントに市民が参加する。				LGBTなど性的マイノリティに関する市民向けの啓発を継続して行う。			
指標設定	指標説明	LGBTなど性的マイノリティに対する理解が深まったと答えた人の割合 【算出式: アンケートにより理解が深まったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				講座等の参加者数				講座等の実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90	90	90	90	100	100	100	100	3	3	3	3
	実績	0	85	98.90	78.20	0	82	106	226	0	1	1	2
	達成度	87%				226%				67%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.36
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,482	2,835	3,346		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,482	2,835	3,346		
物件費計	422	722	989	1,024	96.6%	
歳出計	3,904	3,557	4,335			
歳入	国庫支出金	28	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	28	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	28	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	422	694	989	1,024		

5. 総括的分析

総括的分析	性的マイノリティへの差別、偏見の解消に向けて、広く啓発を進める手法として映画(同性愛の家族を描いた映画「泣いたり笑ったり」)の上映会を実施した。当事者の方への支援として、LGBTQ+電話相談、コミュニティスペースを実施するとともに、パートナーシップ宣誓制度については、宣誓者の手続の負担軽減を図るため、大阪府、京都府、兵庫県内で制度を運用している自治体間でのパートナーシップ制度自治体間連携ネットワークに加盟した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	今後も性的マイノリティに対する理解を促進するための啓発を継続して実施するとともに、当事者の相談へのアクセスを向上させるためにオンライン(チャット)相談を実施する。

事務事業名称	DV防止事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち									
	実行計画名	11-3.権利擁護の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	配偶者や交際相手等から暴力を受けている被害者及び同居する子ども			
	サブターゲット	子どもを含む全市民			
	ターゲットが抱える課題	DV加害者から離れ自立する生活への不安や子どもへの心理的影響、DV行動の子どもへの連鎖の懸念			
	ターゲットが抱える課題	誰もがDVの被害者にも加害者にもならないためには、暴力のない環境づくりと子どもの頃からの教育を行う必要がある			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	DV等の暴力がない環境で誰もが自分らしく生活することができる状態。				
事業概要	女性に対するあらゆる暴力を根絶するための啓発活動と相談支援体制の強化を図る。・DV被害者支援の専門相談機関「枚方市配偶者暴力相談支援センター」において、DV被害者からの相談を受ける。・男女共生フロアを拠点として、女性に対する暴力をなくす運動期間事業など講座を実施する。・枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議及び研修会により連携強化を図る。・教育委員会と連携し、「DV予防教育プログラム」を実施し、そのプログラムを踏まえ教職員を対象に研修を実施する。・緊急一時保護事業・DV相談窓口案内カード、リーフレットの配布、車体広告掲示、HP等による情報提供を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	DV予防教育を通じて、子どものDV防止に対する意識が向上する。				アウトプット (活動結果)	DV予防教育に児童が参加する。				インプット (活動)	DV防止を目的とした子どもの頃からの教育を実施する。			
	指標説明	「暴力は受ける側にも問題や原因があると思う」と答える中学生の割合 【算出式: アンケートにより暴力は受ける側にも問題や原因があると思うと回答した人数/アンケート回答者数×100】				DV予防教育プログラム参加児童(小学生)				DV予防教育プログラム実施校(小学校)					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	50	45	40	35	680	720	760	800	10	11	12	13		
	実績	54	53	51	53	499	762	653	605	8	10	10	8		
達成度	49%				76%				62%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.81
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,637	14,900	7,403		
	会計年度任用職員	3,196	3,185	3,648		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,833	18,085	11,051		
	物件費計	2,666	2,653	3,189	3,390	94.1%
	歳出計	20,499	20,738	14,240		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,515	2,653	3,189	3,390	

5. 総括的分析

総括的分析	小学生を対象としたDV予防教育プログラムは毎年一定数実施できているが、中学生を対象としたデートDV予防教育は参加希望校が増加傾向である。DV防止に対する意識向上に向けては、DV予防教育を契機とし、継続した取り組みが必要である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	DV防止に向けては、子どもたちが互いの意見を聞きながら主体的に考える現行手法が効果的であることから、引き続き、教育委員会と連携して取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 287

事務事業名称	いじめ問題再調査委員会運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	いじめ防止対策推進法・枚方市いじめ問題再調査委員会条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市いじめ問題再調査委員会				
事業対象	メインターゲット	枚方市いじめ問題再調査委員会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市いじめ問題再調査委員会を円滑に運営する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市いじめ問題再調査委員会が円滑に運営できている状態。				
事業概要	市長の諮問に応じ、法第28条第1項の規定による調査の結果について調査する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	4.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	312	6,316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	2,453		
	人件費計	0	312	8,769		
物件費計	0	0	200	640	31.3%	
	歳出計	0	312	8,969		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	200	640	

5. 総括的分析

総括的分析	市長からの諮問に基づき、枚方市いじめ問題再調査委員会にて再調査を実施。令和5年7月10日に第1回を開催し、令和5年度中に計12回委員会を開催した。同委員会において教育委員会が作成した報告書の検証や関係者への聴取等を行えるよう、事務局として会議の支援を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、事務局として枚方市いじめ問題再調査委員会の円滑な運営に資するよう取り組む。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	人権ケースワーク事業													
測定年度	2023 (R5) 年度				部	市長公室				課	人権政策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2002 (H14) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市人権尊重のまちづくり条例、障害者差別解消法、部落差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	人権侵害を受けている、あるいは、人権に係る悩みを抱えている人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	人権侵害を受けている、あるいは人権に係る悩みを抱えているが相談できる人がいない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	気軽に相談を受け、専門的な助言や各種情報を入手できることで、市民自らが人権に関する問題を解決できる状態。				
事業概要	専門の相談員を配置し、市民が人権侵害を受け、又はその恐れがある場合において、相談事業に応じた助言及び情報提供を行うとともに、市民が自ら問題解決できるよう支援を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	気軽に相談を受け、専門的な助言や各種情報を入手できることで、市民自らが人権に関する問題を解決できる。				アウトプット (活動結果)	人権に係る問題等を抱える方が相談できる機会が増える。				インプット (活動)	人権に係る相談事業を実施する。			
	指標説明	新規相談件数				延べ相談件数				相談事業開催日の日数					
指標設定	単位	件				単位	件				単位	日			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)	95	100	105	110	340	350	360	370	244	244	244	244	
	実績	72	74	99	83	159	142	333	364	243	242	255	243		
達成度	75%				98%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.28
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,536	2,734	2,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,536	2,734	2,211		
	物件費計	6,460	6,857	6,857	6,857	100.0%
	歳出計	9,996	9,591	9,068		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,567	1,673	1,873	1,673	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,567	1,673	1,873	1,673	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	4,893	5,184	4,984	5,184	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度の相談件数は364件(形式:面接59件、電話302件、メール・FAX3件)で、昨年度に比べ31件増加したが、新規83件、再開16件、継続相談が265件であった。令和4年度から、相談時間を見直し、市役所開庁時間外の毎週火曜夜間と毎月第3土曜午前も相談を行い、この時間帯の利用実績は24件であった。また、人権侵害等の実態把握の一環として、インターネット上の人権侵害モニタリングを週1回1時間程度実施し、人権侵害事案に相当する件数は13件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	関係機関との情報共有や連携に力を入れ、相談の質の向上を図るとともに、引き続きホームページなどでの相談窓口の周知に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 290

事務事業名称	枚方市人権尊重のまちづくり基本計画推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名		人権意識の啓発と人権教育の推進								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市人権尊重のまちづくり審議会				
事業対象	メインターゲット	市民一人ひとり			
	サブターゲット	各事業を実施する部署・職員			
	ターゲットが抱える課題	人権問題が多様化・複雑化しており、差別や人権侵害が起きている			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	お互いを思いやり、一人ひとりの人権が尊重されるまち				
事業概要	令和4年度に策定した「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」に基づき、多様化・複雑化する人権課題に対し、より効果的に施策を推進するため、毎年度、取組の進捗状況を取りまとめ、公表する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			市民一人ひとりの人権尊重の意識が醸成される。				枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の充実を検討する。			
指標設定	指標説明		人権をテーマにしたコラムの広報誌への掲載等市民周知の回数				枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の進捗管理や計画改定にあたり、外部から意見を聴く場(審議会等)の設定回数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		-	-	-	6	-	-	-	1
	実績		-	-	-	5	-	-	-	1
達成度		83%				100%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						枚方市人権尊重のまちづくり基本計画が策定される。				市民の人権意識等を把握し、人権問題に係る行政課題を明らかにし、課題を解決していくために枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の策定事務に取り組む。			
指標設定②	指標説明					枚方市人権尊重のまちづくり基本計画までの進捗率				外部から意見を聴く場(審議会等)の設定回数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					-	80	100	-	-	6	1	-
	実績					-	80	100	-	-	6	1	-
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.92
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	15.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,250	3,750	7,263		
	会計年度任用職員	420	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	494	105	475		
	人件費計	9,164	3,855	7,738		
物件費計	1,681	1,019	0	0		
歳出計		10,845	4,874	7,738		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		1,681	1,019	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の進捗管理を実施することで、職員の人権意識の醸成を図った。更なる人権意識の醸成に向け、事業者の責務や市民の役割を位置付けるなど人権尊重のまちづくり条例の一部改正を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	進捗状況の取りまとめ方法をより分かりやすくできるよう検討し、枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の進捗に引き続き取り組む。

事務事業名称	市民参画型啓発事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち										
	実行計画名	12-1.男女共同参画の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	男女共同参画という言葉に馴染みや関心のない市民			
	サブターゲット	男女共同参画に関心のある市民団体			
	ターゲットが抱える課題	男女共同参画について興味がない。自分には関係ない。			
	ターゲットが抱える課題	団体の既存の活動に、どのように男女共同参画を視点を盛り込んでいけばよいのかわからない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が男女共同参画が誰に対しても身近な施策であることを知り、主体的に男女共同参画の推進に取り組んでいる状態				
事業概要	男女共生フロア・ウィル登録団体制度を活用している団体と定期的に協議の場を持ち、男女共同参画に係る啓発活動の方向性について話し合う。また、男女共同参画推進の啓発に寄与する事業を、協働で企画・実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		男女共同参画が誰に対しても身近な施策であることを知り、主体的に活動する市民が増加する。				男女共同参画の視点を盛り込んだ活動を行う団体と協働し、啓発活動を企画・実施する。				男女共生フロア・ウィル登録団体と定期的に協議を行う。			
指標設定	指標説明	各種アンケートにより男女共同参画に主体的に参加したいと回答する人の割合 【算出式:アンケートにより今後も男女共同参画の推進に積極的に参加したいと回答した人数/アンケート回答者数×100】				男女共生フロア・ウィル登録団体と企画・実施した事業の数				男女共生フロア・ウィル登録団体との協議の回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	単位	%			単位	件			単位	回		
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	90	90	90	91	14	15	1	2	1	1	10	11
達成度	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	13	10	
		0%				100%				91%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.01
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,170	1,615	583		
	会計年度任用職員	128	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,298	1,615	583		
物件費計	3	7	0	62	0.0%	
歳出計	2,301	1,622	583			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3	7	0	62		

5. 総括的分析

総括的分析	男女共生フロア・ウィル登録団体と登録更新時にミーティングを行い、活動の方向性や活動ルームの移転について情報を共有した。夏休み中には、ウィルの周知を図るため、啓発イベント「ウィルdeクラフト」を2団体との協働で実施したほか、男女共同参画を目指す情報誌「モアメイム」に、1団体から作品の提供を受けた。これらの活動を契機に団体内で男女共同参画についての理解を深めるとともに、市民に向けたウィルの周知も図ることができた。（当該事業の活動効果の指標については、アンケートを実施していたウィル・フェスタがコロナ禍により中止されていたため、達成度は算出不能となっている。）
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	男女共生フロア・ウィルの移転に伴い、これまでウィルに訪れることのなかった市民も増加するため、ウィルの周知と合わせ、登録団体と協働し、親子などを対象にした効果的なイベント実施に向け検討を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 293

事務事業名称	男女共生フロア・ウィル相談事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち									
	実行計画名	12-1.男女共同参画の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1992(H4)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	夫婦や家族関係など、様々な悩みを抱える人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	夫婦や家族関係に悩みを抱えているが、相談できる人がいない。また、金銭的な問題などにより、民間の専門相談機関に相談することが出来ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	相談者が必要な時に相談し、助言を受け、自立を図ることが出来ている状態。				
事業概要	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に各種女性相談事業及び男性のための電話相談事業を委託して実施。相談者の立場を尊重した相談と各種情報提供や助言を行う。法律相談は女性弁護士が対応、面接相談と電話相談は女性相談員が対応、男性のための電話相談は男性相談員が対応。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		相談者が必要な時に相談し、助言を受けることで自立に向けた一助となっている。				夫婦や家族関係に悩む人が相談できる機会が増える。				特定非営利法人枚方人権まちづくり協会に各種女性相談事業及び男性のための電話相談事業を委託し、実施する。			
指標設定	指標説明	自立に向け相談が役に立ったと答えた人の割合 【算出式:アンケートにより相談が役に立ったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				面接相談事業稼働率 【算出式:相談者数/相談事業実施回数×100】				面接相談事業実施回数(実数)			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	90	90	90	90	80	80	80	80	546	536	420	420
実績	100	100	94	77	76	79	59	68	415	425	313	358	
達成度	86%				85%				85%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.12
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,617	2,394	1,199		
	会計年度任用職員	43	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,660	2,394	1,199		
物件費計	9,723	9,733	9,733	9,733	100.0%	
歳出計	12,383	12,127	10,932			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	9,723	9,733	9,733	9,733		

5. 総括的分析

総括的分析	令和6年4月より困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されることに伴い、男女共生フロア・ウィルを困難女性の相談窓口とするため、既存の相談事業の実施状況を確認し、福祉などの関係機関と連携した相談対応ができるような体制づくりについて検討を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	男女共生フロア・ウィルにおいて、女性支援法の相談窓口対応を行うにあたり、既存の女性のための各種相談や福祉などの関係機関と連携し実施できるよう体制づくりに取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	男女共同参画啓発事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室				課	人権政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち											
	実行計画名	12-1.男女共同参画の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	男女共同参画に意識がない市民			
	サブターゲット	男女共同参画に関する知識や情報を必要とする人			
	ターゲットが抱える課題	男女共同参画に関する知識や情報を得る機会がない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	男女共同参画に関する知識や情報を得ることで、男女共同参画意識が向上できている状態				
事業概要	あらゆる分野での男女共同参画推進のため、男女共同参画週間に合わせた講演会や男女フロア・ウィルを拠点とした啓発講座など、多面的な取組を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		各種講座等を通じて、男女共同参画に関する知識や情報を得ることで、男女共同参画意識が向上できている。				市民が男女共同参画に関する講座等に参加する機会が増える。				男女共同参画に関する各種講座等を実施する。			
指標設定	指標説明	イベントに参加し、男女共同参画の理解が深まったと答えた人の割合 【算出式:アンケートにより理解が深まったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				講座等の参加者数				講座等の実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90	95	95	95	763	564	574	584	25	30	30	30
	実績	96	90.50	86	86	135	813	292	449	10	12	10	14
	達成度	91%				77%				47%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.01
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,540	6,085	583		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,540	6,085	583		
物件費計	1,997	968	1,211	1,561	77.6%	
歳出計	8,537	7,053	1,794			
歳入	国庫支出金	113	0	43	182	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	517	0	450	589	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	630	0	493	771	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,367	968	718	790		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大期から実施した講座の動画配信など、webでの啓発を引き続き実施するとともに、対面での講座も再開し、講座参加者の増加に向け取り組んだ。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染拡大以前の講座実施手法を改善の上復活させるとともに、効果的な啓発を継続して実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 295

事務事業名称	男女共同参画計画推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		12.男女がともに参画し、個性を發揮できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市男女共同参画推進条例 男女共同参画社会基本法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市男女共同参画推進審議会				
事業対象	メインターゲット	各所管事業を実施する職員・職場			
	サブターゲット	各事業の対象となる市民			
	ターゲットが抱える課題	男女共同参画計画に基づき、男女共同参画の視点を持って事業を実施する必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管する各事業を男女共同参画計画に基づき、男女共同参画の視点を持って事業が実施できている状態				
事業概要	<p>・「第3次枚方市男女共同参画計画」の具体的な取り組みを定めた「第3次枚方市男女共同参画計画アクションプログラム前期(平成28～令和2年度)」に基づいた施策展開を着実に推進するため、毎年度、取り組みの実施状況を取りまとめ、公表する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						男女共同参画の視点をもって事業を実施している。				各課に男女共同参画推進担当者を配置する。					
指標設定	指標説明					男女共同参画推進担当者研修の参加割合 【算出式: 男女共同参画推進担当者を対象とした研修の参加人数 / 男女共同参画推進担当者数 × 100】				男女共同参画推進担当者の選出部署割合 【算出式: 男女共同参画推進担当者の選出部署数 / 男女共同参画推進担当者を設すべき部署数 × 100】					
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値					単位	%			単位				%	
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績					-	100	100	100	111	100	100	100		
達成度					89%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.54
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,343	6,093	4,263		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	67	0	13		
	人件費計	5,410	6,093	4,276		
物件費計	30	90	0	0		
歳出計	5,440	6,183	4,276			
歳入	国庫支出金	0	113	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	517	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	630	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	30	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	男女共同参画推進本部及び推進担当者への研修を継続して実施するとともに、男女共同参画計画アクションプログラムの進捗状況を毎年公表することで、職員に対する男女共同参画意識の醸成を図った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度に男女共同参画計画アクションプログラム進捗状況の公表内容をより市民にわかりやすく変更しており、今後も男女共同参画計画の推進に引き続き取り組む。

事務事業名称	平和に関する啓発事業										
測定年度	2023(R5)年度		部	市長公室			課	人権政策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	13.平和の大切さを後世に伝えるまち									
	実行計画名	13-1.平和意識の啓発									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1968(S43)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市人権尊重まちづくり審議会				
事業対象	メインターゲット	平和に関心がない市民			
	サブターゲット	若い世代をはじめ平和に関する知識や情報を必要とする人。			
	ターゲットが抱える課題	身近に戦争体験者等がいなく戦争や平和に関して学ぶ機会や知る機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	平和に関する啓発事業等を通じて、市民の平和意識の醸成が図られている状態。				
事業概要	<p>○市民への日本国憲法の理念の定着や平和意識の醸成のため啓発事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「憲法のつどい」・平和資料室通年展示「禁野火薬庫の爆発」及び特別展示 ・妙見山の煙突見学会 ・バスで巡る市内の戦争遺跡 <p>○非核平和都市宣言の啓発を行うとともに、核兵器の廃絶を求め、平和な社会を実現するための啓発に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦跡案内等平和学習への協力 ・その他平和団体等への協力 ・核実験に対する抗議 <p>○「枚方市平和の日」を記念して啓発事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「枚方市平和の燈火(あかり)」・ひらかた平和フォーラム ・平和ライブラリーコンサート <p>○平和の鐘カリヨンを1日10回定時に鳴らすとともに、原爆が投下された8月6日(広島)、8月9日(長崎)、終戦記念日</p> <p>の8月15日、国際平和デーの9月21日、枚方市平和の日の3月1日に鳴らし、平和意識の醸成に努めている。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		平和に関する啓発事業等を通じて、市民の平和意識の醸成が図られている。				市民が各種イベントに参加する機会が増える。				平和に関する啓発イベント等を実施する。			
指標設定	指標説明	主な平和啓発事業のアンケート結果における「大変満足した」及び「まあ満足した」の割合。実績ベース(86%)から毎年1%を目途に上昇を目指し、R5年度は90%を目標とする。 【算出式:「大変満足した」及び「まあ満足した」と回答した人数/アンケート回答数×100】				平和に関する啓発イベントへの延べ参加人数				平和に関する啓発イベントの開催回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	100%				46%				73%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.73
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,178	16,015	13,658		
	会計年度任用職員	105	0	45		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,283	16,015	13,703		
物件費計	4,184	4,631	3,295	5,830	56.5%	
歳出計	16,467	20,646	16,998			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	222	358	295	295	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	222	358	295	295	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,962	4,273	3,000	5,535		

5. 総括的分析

総括的分析	3月1日枚方市平和の日の関連事業である平和の燈火や、市内の戦争遺跡巡りツアー、妙見山の煙突見学会など、地域に密着した内容の啓発事業から、著名人による平和フォーラム、禁野火薬庫の爆発の当時の写真を掲示したパネル展まで、多彩な事業を実施した。また、学生と連携して事業に取り組むとともに若年層への啓発の一環として作成した平和啓発冊子「平和のために私たちができること」を市内小学校や市民等に配布した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	事業の趣旨と集客力の双方に視点を置いた企画や関係部局との連携により、より効果的な啓発を行うとともに、課題である若年層への啓発として、学生との連携や令和4年度に作成した平和啓発冊子の活用にも一層取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 560

事務事業名称	人権擁護委員関係事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	人権擁護委員法				
関係補助金名称	枚方地区人権擁護委員会補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	法務省から委嘱された17名の枚方地区人権擁護委員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	人権擁護委員の活動が効果的、円滑に行うことが出来ていないため、市と連携して取り組む必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の基本的な人権を擁護し、自由人権思想の普及と高揚につながる人権擁護委員の様々な活動が効果的、円滑に行われている状態。				
事業概要	本市には、国民に保障された基本的人権を擁護するために設けられた人権擁護委員(2020年1月1日現在16人)が法務省から委嘱されており、その活動を支援する。活動内容は、人権相談、人権週間街頭啓発及び人権特設相談、法務局常設・常駐人権相談、人権作文コンテスト(中学生対象)、人権の花運動(小学生対象)、人権教室(小学生対象)、スマホ・ケイタイ人権教室(小・中学生対象)、定例会、現地研修会等を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						人権擁護委員が主体となった各種活動を効果的、かつ円滑に実施する。				人権擁護委員の活動を支援する。			
指標設定	指標説明					枚方地区人権擁護委員会事業計画に記載する事業の実施率。 【算出式:実施した事業数/事業計画記載事業数×100】				枚方地区人権擁護委員会定例会、研修会の回数。			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					単位	%			単位 回			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					64	100	100	100	12	12	12	12
達成度					7	85	105.71	104	6	12	13	14	
						104%				117%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.82
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,536	6,640	6,474		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,536	6,640	6,474		
物件費計	611	562	631	660	95.6%	
歳出計	4,147	7,202	7,105			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	150	150	150	150	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	150	150	150	150	
一般財源（物件費に充当されるもの）	461	412	481	510		

5. 総括的分析

総括的分析	定例会などの会議を開催したほか、研修会を当初予定より2回多く実施した。小・中学校を対象とした人権教室などの啓発事業については、事務局として学校からの申し込みに全て対応できるように枚方地区人権擁護委員会の活動を支援した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方地区人権擁護委員会の会議や研修会の円滑な実施や、小中学校での人権教室などの啓発活動が円滑に行えるよう、事務局として引き続き支援していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 849

事務事業名称	人権政策課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	人権政策課職員・職場			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	人権政策課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人権政策課の運営が円滑に図られている				
事業概要	人権政策課運営事務:①議会答弁関係 ②事務事業関係 ③環境評価関係 ④各種団体要望関係 ⑤大阪府等庁外への照会回答関係 等 人権政策課庶務関係:①人権政策課の予算・決算に関する事務 ②職員の服務関係 ③物品の発注関係 ④文書の収受・発送関係 ⑤備品の管理関係 ⑥啓発資料の貸し出し関係 等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.03
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,712	8,854	9,139		
	会計年度任用職員	43	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,755	8,854	9,139		
物件費計	1,653	2,029	2,106	2,926	72.0%	
歳出計	9,408	10,883	11,245			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,653	2,029	2,106	2,926		

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は新たにいじめ対策担当が新設され、組織変更が行われたが、男女共生フロア・ウィルの運営をはじめ、各担当がお互いの事務の効果的な連携・協力を努めてきた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行の人員体制を最大限に活し、効果的・効率的な事務執行を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 973

事務事業名称	いじめ対策事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	R5年度(2023年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	いじめ防止対策推進法、いじめの防止等のための基本的な方針、枚方市いじめ防止基本方針				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立小中学校の児童・生徒			
	サブターゲット	子ども自身、保護者、教職員及び地域			
	ターゲットが抱える課題	いじめが自身や身の周りで起き、解消できない状態			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人権意識が向上するなど、いじめの未然防止等につながっている状態				
事業概要	<p>○市長部局と教育委員会で情報共有や連携等を行う連携会議を開催する。</p> <p>○いじめ重大事態の対応策について教育委員会と協議する。</p> <p>○いじめ対策を推進するにあたり、いじめの背景にある福祉的課題の解決など、関係部署・関係機関との連携を行う。</p> <p>○いじめ防止対策の啓発を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		いじめが解消している状態				連携会議等でいじめ事案に対して適切な対応を協議する				いじめ対策について教育委員会や関係部署・関係機関との会議を実施する			
指標設定	指標説明	・いじめの解消率(いじめの解消件数/認知件数)※① いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間(少なくとも3ヶ月)継続していること。② 被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。面談等により確認。				連携会議等で取り扱ったいじめ件数				連携会議等の実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	-	-	100	-	-	-	36	-	-	-	12
	実績	-	-	-	99.50	-	-	-	31	-	-	-	25
達成度	100%				86%				208%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	7,106		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	7,106		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	0	0	7,106			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	いじめ対策において、教育委員会との連携会議を開催し、いじめ重大事態を含むいじめ事案の情報共有や協議等を行いながら、適切に対応した。 総合的ないじめ対策を進めるため、関係課長会議を開催し、いじめ防止基本方針の改訂等の協議を行った。 また、中学校(蹉跎中・長尾西中)の総合学習に参画し、いじめ問題を取り上げることで、生徒がいじめについて考える機会を設けた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後は庁内委員会を立ち上げ、いじめ防止対策の検討を行うとともに、教育委員会や関係部署と連携を図りながら、いじめ防止対策の啓発やいじめ対応を実施する。

事務事業名称	いじめ相談窓口事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市長公室			課	人権政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R5年度(2023年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	いじめ防止対策推進法、いじめの防止等のための基本的な方針、枚方市いじめ防止基本方針				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立小中学校の児童・生徒			
	サブターゲット	保護者、教職員及び地域			
	ターゲットが抱える課題	いじめを受けている、または見聞きしているが、学校や家族以外に相談したい			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	相談者が必要な時に相談ができ、助言を受け、いじめの解消に向けた対応が来ている状態。				
事業概要	○人権政策室にいじめ相談窓口を設置し、電話、FAX、メール、面談で相談を受ける。 ○相談を受けた際は、相談者等に寄り添い学校等と連携して速やかに実態把握するとともに、事案に応じて対応する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	子どもがいじめを認識している状態				アウトプット (活動結果)	児童生徒やその保護者等の相談者がいじめ相談窓口継続して相談する				インプット (活動)	児童生徒やその保護者等の相談者がいじめ相談窓口新規で相談する			
	指標説明	いじめの認知件数				延べ相談件数				新規相談件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	-	-	-	3500	-	-	-	70	-	-	-	40		
	実績	-	-	-	4,361	-	-	-	68	-	-	-	44		
	達成度	125%				97%				110%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.18
特別職非常勤	0.05
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	469		
	特別職非常勤	0	0	500		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	8,864		
	物件費計	0	0	991	1,115	88.9%
	歳出計	0	0	9,855		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	991	1,115	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年7月に人権政策室内にいじめ相談窓口を開設した。いじめ相談については、本人意向を確認しながら、教育委員会や学校と連携するとともに、弁護士にも助言を受けつつ、相談者に寄り添った相談対応を行った。また、学期ごとにいじめお手紙相談を全児童・生徒に配布する他、いじめ啓発ポスターを掲示するなど、いじめの相談窓口を周知した。 相談件数68件（電話31件、メール4件、面談5件、手紙28件）
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、いじめ相談について、相談者に寄り添った対応を行うとともに、教育委員会や学校等と連携、協議を行う。